
高校生幹事長

源綱雪

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

高校生幹事長

【Zコード】

N4388Y

【作者名】

源綱雪

【あらすじ】

tea cupとの重複投稿です。これからも不定期的に書いていきます。

内容は高校に入ると同時に政治家デビューして、政策に関わっていく物語です。

プロローグ

僕は自分の合格を確認して、姉の車に乗った。姉は衆議院選挙の候補者なので、その応援をしなくてはいけない。自由生命党公認をもらっている。

僕の名前は虹一丸、高校受験を終えたばかりなんだ。姉は純美子つていう28歳。国民と社会の推薦を受けている。

相手候補は自由資本党公認の公暗党推薦の現職39歳。3選を目指している。姉さんの演説

「私は衆議院議員になりました暁には動植物共同参画社会の実現に取り組み、高校授業料無料化、郵政民営化見直しを行います」

なかなかのできだつた

その演説を終えると、姉さんは車の中に戻つて来て、僕に高い高いをしてきた。

「姉さん、僕子供じゃないんだけど…」

「何言つているの？私が育てたでしょ」

「それはそうだけど…」

と、いう会話をしながら姉さんのペースになつてくるんだよね…

と、その時僕の携帯が鳴つた。

「一丸君だね！私共の政党への投票をお願いいたします。」

そのような電話が何度もある。仮入学の日に生徒会選挙があるとは聞いてたけど…。

僕に入る高校は永田高校。特徴として、生徒会選挙は政党の比例制度で行われる。しかも、票数は1人1票ではなく、点数＝票数となつていて、生徒は全員政党に所属するつて決まりがあるんだ…。

そして、仮入学の日…

僕は校内政党、緑”に投票し、校内では、この政党に所属することに決めた。

一方、校外では衆議院・参議院のW選挙が行われている。

姉の結果は当選だった。しかも当選者の中で一番先に決まつたんだ。当然、相手は比例も落ちた。そして、政権交代が起つて衆議院で240議席、参議院で120議席を自由生命党が獲得。国民・社会主義士と合わせて各院300と140の議席を占めた。

プロローグ2

その特番を見てた・・・まさにその時、姉さんの党の代表の会見が流れだした。

‘まずは党人事を発表する。幹事長には4月1日をもつて永田高校に入学する者を充てる。名前についてはまだ中学生なので、就任する4月1日まで明かない。政調会長には4月1日に桜丘大学入学する足利久子、国対委員長には虹純美子を充てる以上’

「ふ〜ん、姉さんすごいね。でも誰なんだろう？幹事長」

「ありがとう、一丸ちゃん。本当に誰かしらね」

そういうと、姉さんは目をそらした。何か隠してるんだろうか・・・

今、テレビに出てた代表の名前は豊臣綱吉っていうて、姉さんを選挙に出した張本人なんだ。僕の姉と何か約束してたらしいけど、まさか、僕が幹事長じゃないよね・・・

次の日、僕の携帯が鳴った。

“もしもし”

「はい、虹一丸です」

“わしだ、豊臣だ”

「なんでしょうか？」

‘ちょっと、党本部まで来てくれ’

何だろうかと思って行ってみると、幹事長を拝命された。姉さんの国対委員長解任も伝えられた。姉さんはその時、当選証書を貰いに行つてた。

その日の夜・・・

「姉さん、この話知つてたね（怒）」

「確かに頼んではみたけど簡単に通るとは思わなかつたのよ（汗）」「やつぱり・・・」

『一丸君、男子校に行くのはいいけど、政治家になるのは聞いてないわよ（怒）』

「ちょっと待つてよ、石部さん。僕も今日知ったんだよ」

声の主は幼馴染の石部ヒロ子さんだった。僕の天敵でもある。「だったら、直ぐに報告しなさいよ。それにヒロって呼んでつづいても言つてるでしょ。」

「そんな呼び方出来ないよ女の子に・・・」

「二人ともそこまでにしなさい。私は明日から国会よ。一丸ちゃん早く寝なさい。石部さんもかえつてちょうどだい。」

次の日、僕は姉さんに党本部に連れられてきた。

「さあ、一丸ちゃん。今日から新人としての研修があるわよ。頑張りなさい」

「姉さんは？」

「私は国会があるから、この足で向かうわよ」

あつ、そうだよね。総理の指名選挙あるんだよね・・・確か

「豊臣さんに入るわ、当然。まあ、麻家綱の辞任が最初に見れるわ。楽しみね。」

姉さんはそういうと僕を残して行っちゃった。

僕も今日の研修頑張らなきゃと、気を引き締めて中へと入った。

プロローグ③

まず、幹事長としての心構えから、研修は始まった。その前に自己紹介があった。

「僕は、虹一丸とおっしゃいます。まだまだ未熟なんだけど、精一杯頑張つて行きます。」

「うむ、頑張れ」

「ところで、おじさんは誰?」

素朴な疑問だつたんですけど…

「わしか? わしは、新しく国対委員長に就くことになつた錦だ」

「へえ~」

なるほど、年に見えるけど、30前なんだ…

ちよつど同時刻…

国民党本部でも、前田利之の研修をしていた。

社会義士党では、夜叉節秀子（秋葉女子高校）の研修をしていた。

国会では姉貴も参加しての研修が終わり、総辞職（麻家綱内閣）がなされ、首班指名選挙が行われていた。

衆議院 参議院

豊臣綱吉 303 140

浅野太郎 156 90

（自由資本党新総裁）

浅井長吉 21 12

（共産党委員長）

この結果、わが党代表豊臣綱吉が総理に指名された。そして…。

「やあ~

ちょ~、これにてきょうは~散会することを~のぞみま~す」という姉の動議の声にて終わった。（議長・副議長選挙割愛）

その後、姉が迎えに来てくれて、一緒に帰宅した。

「姉さん、動議が上手いね

「

「おだてても何もでないわよ」

「ジュークスも？」

「まあ、そのくらいなら仕方ないわね」

「この日は、久々に姉に甘えられた。」

その頃、代表は皇居で総理大臣に任命され、組閣本部を立ち上げ、方々へ電話をかけていたらしい。因みに、姉の携帯電話にもかかってきた。

「もしもし、わしだ。」

「どうなさいたのですか。」

「誰を大臣にするべきかのう。」

「それは自分で考えて下さい、代表」

「君を大臣補佐官にしようと思つたんだけどな。」

「お断りします。」この子の世話があります。」

「うむ、わかつた。」

という内容だった。

「でも、組閣に随分時間掛かるんだね、姉さん」

「そりやそうよ！身体検査もやらないといけないんだから」

「えつ、身長や体重なんかで決めるの？」

「何言つてるの？いい、一丸、身体検査つていうのはスキヤンダルの有る無しを調べることをいうのよ。後は、私みたいな事情があるかないかも調べなきやだしね」

「姉さんのような事情？」

「子育て中とかね」

「姉さんの子じやないと思つよ」

「4歳の頃から身内は私一人でしょ」

「そりやあ、そうだし、育ててもらつたけど・・・」

「それじや、解るわね」

実の姉がいなきや児童養護施設に入らなきやいけなかつたらしい・・・

・

そのころ、官邸では…

「国民党の代表には、約束していた郵政担当大臣をしていただく」「それでしたら、動植物共同参画担当大臣もしていただいては、いかがでしょうか?」

「よい考え方である。その方は官房長官に致そう、吉保」

プロローグ4

やつと、組閣が終わつたらしー…

「あら、明日、所信表明だわ」

「僕は、また研修だけどね」

「一丸ちゃん、新人なんだから当然よ」

「あれ、姉さん初当選じゃなかつた？」

「確かに、初当選よ でもね、政治には、携わる仕事をしてたじやない」

翌日、僕は研修を受けている時間帯に、国会では所信表明演説が行われていた。

「私の内閣では、まず高校無償化と郵政改革を今国会で成立させて、7・8月中に臨時国会を開き動植物共同参画社会実現の為の法律改正を行いたい」（総理）

と、いう内容だったらしい。研修の内容は少しずつ難しくなつていい。無事に終わりたいな…

それから、2日後離任式に出て、中学校に別れをつけたんだ。
明日から高校生だ それと共に政治家デビューだ…

就任

翌日の朝…

「一丸ちゃん、起きなさい。」

「なーに?、姉さん」

「なーにじやないわよ。今日の会見は初仕事でしょ。遅刻するわよ」

「あつ、そうだった」

「それに、クラスも見て来なきやね」

「学校でするの?」

「当然でしょ」

「姉さんは?」

「付き添いで行くわ」そして学校で…

「虹くん、こっちに来なさい」

「何ですか?」

「こっちに控え室があるから、会見開始迄いなさい」「とにかくで、

僕のクラスは?」

「会見後に見に行くと良い。中道コースは確かなんだが…」「うん

」
僕にとって一番大事なことだよ。クラスは…

「おはよう。」

「お兄ちゃん誰?」

「俺?俺は新入生の前田利之だが、おまえは?」

「僕も、新入生で虹一丸つていいます」「で、おまえも何かの就任

会見があるのか?」

「うん 自由生命党幹事長だよ」

「実は、俺は国民党幹事長だ。中道コースと言われた」

同じ頃、秋葉女子高校では社会義士党幹事長就任会見がはじまつた。

『私は、夜叉節秀子です。この高校の新入生よ。今日付で社会義士

党幹事長に就任しました。よろしくお願ひね
『

：一方自分達も会見の時間になり、

「はじめまして、僕は虹一丸つていいます。今日付で自由生命党幹事長に就任しました。この高校の新入生で、中道コースに所属します。よろしくお願ひいたします。」

「俺は国民党幹事長に就任しました前田利之といいます。この高校の新入生で中道コースに所属します。よろしく頼みます。」会見が終わると、2人でクラス発表を見に行くと、僕の名前があった。

「1組だよ」

「俺は2組だな」

その時、後ろから声が…

「国民党幹事長と自由生命党幹事長ね？」

「そうですが、お姉さん誰？」

「私は夜叉節秀子。秋葉女子高校の新入生で社会義士党幹事長よ
「あつ、党本部に行かなきや、2人も行つた方がいいよ
「じゃあね」

就任 2

その後、党本部に行つて前幹事長との引き継ぎを行つて帰宅した。

「一丸ちゃんの1学期の成績で国会日程が変わつてへるから、頑張りなさい」

「えつ？」

どういうことなんだろ？

「臨時国会が、期末試験の成績で10日変わつてへるのよ」

「どこで聞いたの？」

「国会で質問したのよ」

なんだが自分の能力向上具合で政治日程が変わつてへるのは責任重大な気もするんだよね。それはいいとして、引き継いだお金の管理どうしよ？…

「口座分けちゃえば？」

「姉さん、僕の考えていることがよくわかつたの？」

「だてに親代わりしてないわ」翌日、僕は銀行に行つて、新しい口座を開いて、自分のパソコンからメールをしてた。

献金リストをくれたから樂々終わるんだけど…

く各位 お忙しい中申し訳ありませんが、新しい口座に入れて下さい。

これがその文面、企業や、団体に送ったんだ。

入学

僕は党の仕事を肃々と行つてゐる。

「そう言へば、後2日で入学式だよな！宿題も忘れない内に済ましこう」『…こそ、…けれ…』のようない法則をなんという』

あつ、これは掛かり結びの法則だ

♪ A B = DE , BC = EF , ABC = DEF の時、の合同条件
はく

これは簡単 二辺とその間の角がそれぞれ等しいだ 等と1日で終わらせちゃつた そして… 5日の入学式

「本校に入学おめでとう。君たち300人はここで3年間学生生活を送る訳だが、頑張つて欲しい。以上」この校長先生の言葉

各コースの人数 中道 240、右派 30、左派 30

党派人數 縁 220 民主 10 公暗 10 自由資本 20

社会 20 共産 10 人民 10 その後のクラスで、宇治先生が「このクラスの者は保健の授業を受けなくて良い。但し、生態学と生物分類学を代わりに受けてもらつ。」

へえー、ラッキー保健は僕の唯1つの苦手科目なんだ

クラスを出ると、前田利之君に声をかけられた。

「おい、虹、今日から『党の会合』があるのは知ってるな？」

「それは当然…」忘れてた…

「忘れたとは言わないよな？」

「当たり前…：じゃないか」

「場所は理科準備室だ。遅れるな。4時からだぞ」4時から会合だけど、服装は…私服か。家に帰つて着替えようとお気に入りの洋服有るから

家に帰つた僕は箪笥の中からお気に入りで大人っぽい物を出して着替え、再び学校へ戻つた。まだ2時間以上あるから、図書室で何か読んでいよう

本格始動

3時半を過ぎて行かなきやとも思ひナビ… 読んでいる本が面白くて、止められないよ。どうじょう… 僕はその本を借りる手続きを行つて、本を閉じて理科準備室へ向かつた。理科準備室では、秋葉女子高校から、社会義士党幹事長の夜叉節秀子さんが来ていて、国民党幹事長の前田利之君を待つばかりだった。「悪い、悪い。調べ物をしてたら遅くなつた。」

「何を調べてたの?」

「いやあ、この部屋がどこだつたか探してたんだ」「それって、迷子つてことじゃない?」「そつとも言えるな」「他所の生徒の私でも迷わなかつたのよ」「そうはいうが、俺も初めてだぜ」「もつと簡単な場所にすれば良かつたね」「ここで喧嘩されたら困るので中断させた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4388y/>

高校生幹事長

2011年11月24日12時47分発行